

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

指定文化財(史跡)

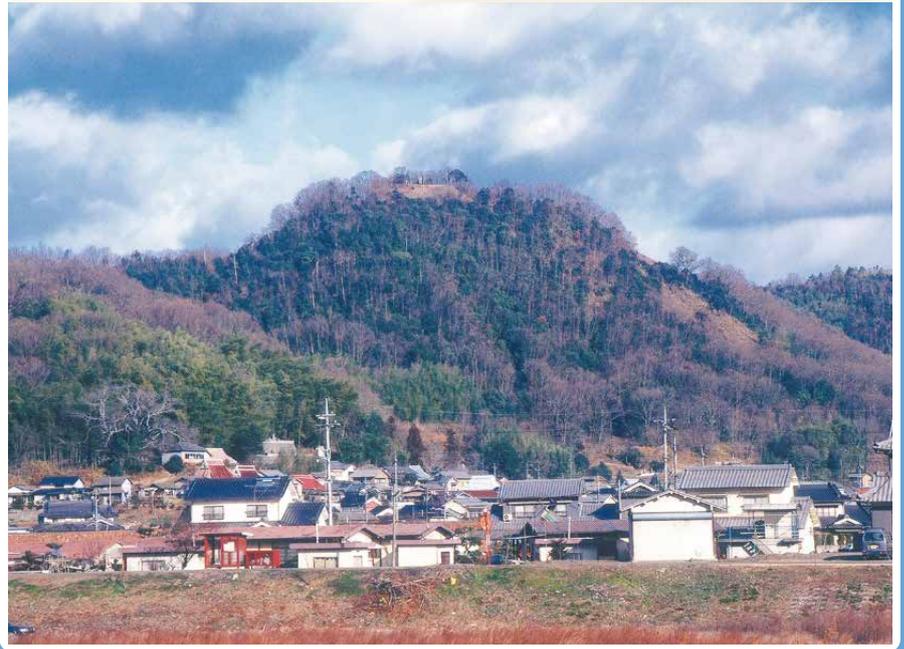
たかこしじょうせき

高越城跡

新高総早倉矢
見梁社島敷掛
市市市町市町

井原市

浅里笠
口庄岡
市町市



場所

井原市東江原町高越字今屋



時代

鎌倉時代



指定年月日

昭和50(1975)年
9月16日



所有

井原市



この史跡について

鎌倉時代末期蒙古襲来の際、宇都宮貞綱によって築城されたと伝えられているこの城は、南北朝の合戦でも使用されました。戦国時代には、備中伊勢氏が入部し荏原郷を治め、この高越城を居城にしていました。

伊勢新九郎盛時(後の北条早雲)は、この備中伊勢氏出身といわれ、青年時代をこの城で過ごしたと伝えられています。

野上町から南方向へ伸びる丘陵にあり、標高約170m、山陽道、小田川が眼下に広がり、笠岡、矢掛、井原市街地が見渡せます。本丸を含めて3段の郭で構成され、堀切も残っており、現在も当時の様子をよくとどめています。